

教科・科目名： 古典(漢文)			
履修学年・対象	3年	文系	1単位
使用教科書	出版社：三省堂	名称：古典B 改訂版(2年次購入済)	
副教材 (授業で使用)	出版社：尚文出版	名称：必携 新明説漢文 (1年次購入済)	
授業の 目標・内容・ 進め方	<p>訓点の施し方、再読、再読、返読、助字等のルールを身につけ、疑問、受身、使役等の基本句形や唐詩のルールの定着を測る。 それを前提として、構文からの本文解釈、漢字の多義的な読み、意味を定着させる。また、異体字も学習し、その他基本的な漢字の読みは暗記すること。入試問題演習も適宜行うが、週1時間の授業であるので、家庭学習で演習を繰り返さないといけない。句形は2年生までに覚えておくべきであるので、早々に復習し、自力で演習を行うこと。</p>		
授業計画	4月	基本句形、漢字の確認、本文読解、思想、説話、史伝、唐詩など	
	5月	基本句形、漢字の確認、本文読解、思想、説話、史伝、唐詩など	第1回試験
	6月	基本句形、漢字の確認、本文読解、思想、説話、史伝、唐詩など	
	7月	基本句形、漢字の確認、本文読解、思想、説話、史伝、唐詩+日本漢文	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題などもふくめた本文読解	
	10月	入試問題などもふくめた本文読解	第3回試験
	11月	入試問題などもふくめた本文読解	
	12月	入試問題などもふくめた本文読解	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		

教科・科目名：現代文			
履修学年・対象	3年	文系	3単位
使用教科書	出版社：三省堂	名称：現代文B（2年次購入済）	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新国語総合ガイド四訂版(1年時購入済)	
	明治書院	現代評論文選 新版( " )	
	Z会出版	現代文キーワード読解 改訂版( " )	
授業の目標・ 内容・進め方	現代文は、基本的に正確に読むこと、そして正確にまとめること、さらに自分の意見を書くことという3つを基本としている。予習が重要であるので、こころして取組んでほしい。特に3年次では、自分で問題集に取り組む姿勢が重要であり、予習はもちろんのこと、自宅で問題集をこなすことがどれだけできるかにかかっている。苦手な人は一日一題のペースで問題集に取り組むこと。また、記述問題などに対応するためにも、予習段階で、必ず、教科書の下の設定問を言葉にしておく。記述は実際に書かなければ、身に付かない。ノートを覚えるような真似はしないこと。文学史は自力で覚えること。2年時までに必要な評論が終わっていない場合、テキストをやることがある。		
授業計画	4月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)	
	5月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)演習、小説演習	第1回試験
	6月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)演習、小説演習	
	7月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)演習、小説演習	第2回試験
	夏休		
	9月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)演習、小説演習	
	10月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)演習、小説演習	第3回試験
	11月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)演習、小説演習	
	12月	評論(近代論・身体論・記号論・メディア論・経済社会論など)演習、小説演習	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		

# 教科・科目名：演習(現代文センター)

履修学年・対象	3年	共通	2単位	
使用教科書	出版社：明治書院	名称：現代評論文選 新版(1年時購入済)		
副教材 (授業で使用)	出版社：尚文出版	名称：センター試験過去問題集 現代文版		
	Z会出版	現代文キーワード読解 改訂版(1年時購入済)		
授業の目標・ 内容・進め方	<p>大学入試センター試験の過去問題集を中心に扱うので、評論と小説を半分程度ずつあつかっていく。センター試験では、限られた時間の中で精緻な読みが要求され、一問の配点も高いので、満点をとるつもりでつめることが要求される。そうした細かいテクニックを身につけるとともに、要約を要求するようなオーソドックスな設問がセンター突破では重要である。評論文選の授業も適宜おりまぜていくので、その場合は予習が必要となる。授業後には要約を身につけるとよい。原則として、授業時間内でテストゼミ形式で行うが、宿題を課す場合もある。</p>			
授業計画	4月	問題演習	入試実践問題	
	5月		入試実践問題	第1回試験
	6月		入試実践問題	
	7月		入試実践問題	第2回試験
	夏休			
	9月		入試実践問題	
	10月		入試実践問題	第3回試験
	11月		入試実践問題	
	12月	↓	入試実践問題	第4回試験
	1月			
	2月			
	3月			

教科・科目名：演習(現代文記述)			
履修学年・対象	3年	共通 2単位	
使用教科書	出版社：駿台文庫	名称：現代文読解力の開発講座 新装版	
副教材 (授業で使用)	出版社：Z会出版	名称：現代文キーワード読解 改訂版(1年次購入済)	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>入試実践問題をプリントで追う。センター試験による客観問題の選択、MARCHレベルの問題からとりあげ、最終的に早稲田、国公立の2次の問題を入れる。特に立教レベルの二十字程度の記述、東大の枠指定による記述を中心に、記述問題への対応を測る。空所補充などは、早稲田の問題を中心に、消去法ではない対応を学ぶ。いずれにせよ、授業では問題数を多く扱えないので、復習をして、学習の定着をはかること。なお、漢字、文学史、文法についてはほとんど扱えないので、自習すること。現代文キーワードの解説は行うが定着は各自がはかること。</p>		
授業計画	4月	問題演習 MARCH問題演習	
	5月	MARCH問題演習	第1回試験
	6月	MARCH早稲田問題演習	
	7月	入試実践問題	第2回試験
	夏休		
	9月	入試実践問題	
	10月	入試実践問題	第3回試験
	11月	入試実践問題	
	12月	↓ 入試実践問題	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		

教科・科目名：演習(古典センター)			
履修学年・対象	3年	共通 2単位	
使用教科書	出版社：尚文出版	名称：センター試験過去問題集 古典版	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新修古典文法二訂版(1年次購入済)	
	尚文出版	必携新明説漢文( 〃 )	
	Z会出版	頻出古文単語400 ( 〃 )	
授業の目標・ 内容・進め方	入試実践問題をプリントで追う。助動詞を中心にした基礎文法は理解していることを前提に、助詞、敬語を武器に、本文解釈を学び、正確な訳が出来るレベルまで求める。漢文については、基本句形の習熟を重ねつつ、構文による本文解釈、漢字の多義的な意味を学び、私大、国立2次の問題への対応を重ねる。いずれにしる、問題を自力で解くことが前提であり、限られた時間の中では、句法、語法の定着を授業時間ではかることは難しいので、自宅学習で、復習を繰り返すことをのぞむ。		
授業計画	4月	問題演習 助動詞、句法の確認	
	5月	助動詞、句法の確認	第1回試験
	6月	助詞、敬語による解釈、構文による解釈	
	7月	助詞、敬語による解釈、構文による解釈	第2回試験
	夏休		
	9月	入試実践問題	
	10月	入試実践問題	第3回試験
	11月	入試実践問題	
	12月	↓ 入試実践問題	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		

教科・科目名：演習(古典記述)			
履修学年・対象	3年	共通	2単位
使用教科書	出版社：河合出版	名称：得点奪取古文 記述対策 改訂版	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新修古典文法二訂版(1年次購入済)	
	出版社：尚文出版	必携新明説漢文( 〃 )	
	Z会出版	頻出古文単語400 ( 〃 )	
授業の目標・内容・進め方	入試実践問題をプリントで追う。助動詞を中心にした基礎文法は理解していることを前提に、助詞、敬語を武器に、本文解釈を学び、正確な訳が出来るレベルまで求める。漢文については、基本句形の習熟を重ねつつ、構文による本文解釈、漢字の多義的な意味を学び、私大、国立2次の問題への対応を重ねる。いずれにしる、問題を自力で解くことが前提であり、限られた時間の中では、句法、語法の定着を授業時間ではかることは難しいので、自宅学習で、復習を繰り返すことをのぞむ。		
授業計画	4月	問題演習 助動詞、句法の確認	
	5月	助動詞、句法の確認	第1回試験
	6月	助詞、敬語による解釈、構文による解釈	
	7月	助詞、敬語による解釈、構文による解釈	第2回試験
	夏休		
	9月	入試実践問題	
	10月	入試実践問題	第3回試験
	11月	入試実践問題	
	12月	▼ 入試実践問題	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		

# 教科・科目名：古典(古文)

履修学年・対象	3年	文系	2単位
使用教科書	出版社：三省堂	名称：古典B改訂版(2年次購入済)	
副教材 (授業で使用)	出版社：京都書房	名称：新修古典文法 二訂版(1年次購入済)	
	日栄社	新・古典文法Lノート ( " )	
	尚文出版	必携 新明説漢文( " )	
	Z会出版	頻出古文単語400 ( " )	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>入試問題を念頭に、難度の高い古文の読解を目標にします。難度の高さは文章の長さによります。文法、敬語法などを武器に、解釈する方法を身につけます。与えられた作品世界を確実に捉えるために数多くの作品を読みましょう。文法書、単語集などを手元におきながら、辞書を使わずに解釈をし、不安な部分をつぶしていきましょう。どんなに遅くとも、夏休み前に文法、単語レベルを完成しないと困ります。授業で行った実践をもとに、必ず、問題集に取り組んでください。</p>		
授業計画	4月	中古の文章を中心に。源氏、蜻蛉、大鏡など	
	5月	中古の文章を中心に。源氏、蜻蛉、大鏡など	第1回試験
	6月	中古の文章を中心に。源氏、蜻蛉、大鏡など	
	7月	中古の文章、近世の歌論 文法単語の完成	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		

教科・科目名： 難関国語			
履修学年・対象	3年	共通 4単位	
使用教科書			
副教材 (授業で使用)			
授業の目標・ 内容・進め方	<p>東大の問題を中心にセンター、私大、国立2次の問題を扱っていく。東大の入試問題に基づくので、評論、古文、漢文、エッセイを中心とし、基本的に、本文を正確に理解し、自分の言葉で書くための訓練を行う記述メインの講座となる。グローバル・サイエンスクラスを選択しないと受講できない。予習が要求された場合は必ず行い、自分の答えを発表し、相互に確認する作業を行う。なお、テキストは用意しないでプリントで問題演習を行うが、必要な参考書を常に準備し、自分のノートを作っていくこと。</p>		
授業計画	4月	問題演習 東大問題演習	
	5月		第1回試験
	6月		
	7月		第2回試験
	夏休		
	9月		
	10月		第3回試験
	11月		
	12月	↓	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		



# 教科・科目名： 世界史B

履修学年・対象	高校 3年	文系	共通	5単位
使用教科書	出版社: 実教出版 名称: 世界史B 新訂版			
副教材 (授業で使用)	出版社: 浜島書店 名称: ニューステージ 世界史詳覧			
授業の目標・ 内容・進め方	<p>&lt;目標&gt; 2年生に引き続き、現代の世界の姿が18世紀中頃より現れ始め、現在の様々な問題を抱えていく過程を学ぶ。</p> <p>&lt;取り組み方&gt; 1回の授業の復習を必ず実践し、「一問一答式問題集」で、基礎事項を頻繁にチェックし、前後関係・因果関係に意識を向けること。スピードが速いので、授業は聞き逃さぬように。定期テスト前に、確認プリントを配布するので、教科書を熟読し、知識の定着を図ること。夏休み後からは国公立・早稲田対策の論述指導も併せて行なう予定。</p>			
課題・提出物	任意でノートチェックを実施する。朝学習として7月より小テストを実施する予定。			
授業計画	4月	十字軍、主権国家体制の確立、大航海時代、ルネサンス		
	5月	宗教改革、絶対主義と西欧の植民活動		第1回テスト
	6月	市民革命(英・米・仏)、産業革命とその影響		
	7月	16～20世紀のアジア(トルコ、イラン、インド、中国)		第2回テスト
	夏休	夏期講習(東南アジア・中南米・アフリカ史)		
	9月	ウィーン体制、国民国家の成立		
	10月	第一次世界大戦と戦間期		第3回テスト
	11月	世界恐慌、第二次世界大戦、戦後の世界		
	12月	戦後の世界		第4回テスト
	1月	直前講習(地域史・センター対策)		
	2月	個別論述指導		
	3月			

# 教科・科目名：世界史演習

履修学年・対象	高校 3年 文系		2 単位
使用教科書	出版社: 実教出版		名称: 世界史B 新訂版
副教材 (授業で使用)	出版社: 浜島書店		名称: ニューステージ 世界史詳覧
授業の目標・ 内容・進め方	<p>〈形式〉 前期は主にアジア近現代史を取り扱う講義形式。中国(明・清から中華民国)、インド(ムガル帝国からガンディー)、イラン(ティムールからパフレヴィー朝)、トルコ(オスマン朝からケマル)など。後期は2年次に学習してきた古代オリエントから中世ヨーロッパ史について、センター試験形式や入試問題による演習を行ない、復習していく。後期では周辺史に注目して重点的に行なう予定である。</p>		
課題・提出物	ノートやプリントなどで学習の取り組み状況を確認し、アドバイスする機会を設ける。		
授業計画	4月	明・清。中央アジア史	
	5月	イラン・トルコ・インド史	第1回テスト
	6月	トルコ・インド近代史	
	7月	中国近代史	第2回テスト
	夏休		
	9月	朝鮮史・東南アジア史	
	10月	早慶上智&センター演習	第3回テスト
	11月	早慶上智&センター演習	
	12月	早慶上智&センター演習	第4回テスト
	1月	早慶上智&センター演習	
	2月		
	3月		

教科・科目名：日本史B			
履修学年・対象	3年 文系	5 単位	
使用教科書	出版社：実教出版	名称：日本史B	
副教材 (授業で使用)	出版社：実教出版	名称：新詳述 日本史史料集	
	浜島書店	新詳日本史	
授業の目標・ 内容・進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2年次で学習した内容の続きを講義する。</li> <li>・授業とノートを最大限活用し、教科書を徹底的に読み込むこと。</li> <li>・後期には、希望者に入試記述問題対策を実施する。</li> <li>・文化史については日本史演習で扱う。</li> </ul>		
課題・提出物	年間2回程度、ノート・チェックを行う。		
授業計画	4月	豊臣政権、幕藩体制、近世身分制	
	5月	「鎖国」の成立、文治主義の時代、近世的流通構造	第1回試験
	6月	幕藩体制の動揺、列強の接近と開国、江戸幕府の滅亡	
	7月	明治維新、近代国民国家の形成	第2回試験
	9月	自由民権運動、立憲政治への道	
	10月	日清戦争、日露戦争、桂園時代、近代産業の発達	第3回試験
	11月	帝国日本とデモクラシー、立憲国家の変容、アジア太平洋戦争	
	12月	占領改革、冷戦の影響、高度経済成長、1970年以降の日本	第4回試験
	1月	直前講習：センター対策、テーマ史学習	
	2月		
	3月		
	長期 休暇	夏期講習：難関校入試対策	

教科・科目名 : 日本史演習			
履修学年・対象	3年 文系	2 単位	
使用教科書	出版社: 実教出版	名称: 日本史B	
副教材 (授業で使用)	出版社: 東京書籍	名称: 新詳述 日本史史料集	
	浜島書店	新詳日本史	
授業の目標・ 内容・進め方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高2で未習だった文化史分野を講義する。</li> <li>・授業では政治・外交・経済の動向にもふれつつ、文化と社会の関連も確認したい。</li> <li>・細部にこだわりすぎず、大きな展開とその背景を常に考えてほしい。</li> </ul>		
課題・提出物	年間2回程度、ノート・チェックを実施する		
授業計画	4月	仏教の展開	
	5月	中世の文化(概論)	第1回試験
	6月	南蛮文化、桃山文化	
	7月	近世の文化(概論)	第2回試験
	9月	近現代の文化	
	10月	近現代の文化	第3回試験
	11月	テーマ別文化史	
	12月	問題演習	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		
	長期 休暇		

# 教科・科目名：地理B

履修学年・対象	3年	文系	2単位
使用教科書	出版社：帝国書院	名称：新詳地理B	
副教材 (授業で使用)	出版社：二宮書店	名称：高等地図帳	
	出版社：帝国書院	名称：新詳地理資料COMPLETE2018	
	出版社：とうほう	名称：ウィニングコンパス 地理の整理と演習	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>基本的には、国公立2次試験の論述対策を目指して授業を進める。しかしながらそのためには基礎の確立も必要なので、センター試験問題の問題も適宜活用する予定。私立大の入試問題も視野に入れる。内容は系統地理の未修分野と地誌の両面を扱う。授業はプリントを中心に演習問題をやりながら、解説していく。自宅学習の時間が確保しにくいと思うので、できるだけ授業中に理解し切ってしまうぐらいの気持ちで集中して授業に参加してほしい。</p>		
課題・提出物	夏期休暇に基礎力充実を目的とした課題を出す。		
授業計画	4月	各産業の復習	
	5月	村落と都市。都市問題、国家と領域	第1回テスト
	6月	国境、領土問題、民族と宗教	
	7月	地形図の読図	第2回テスト
	9月	各国地誌、センター総合演習＋国公立論述問題	
	10月	各国地誌、センター総合演習＋国公立論述問題	第3回テスト
	11月	各国地誌、センター総合演習＋国公立論述問題	
	12月	センター総合演習＋国公立論述問題	第4回テスト
	1月	センター総合演習＋国公立論述問題	
	2月		
	3月		
	長期 休暇		

# 教科・科目名：地理演習

履修学年・対象	3年	理系	2単位
使用教科書	出版社：清水書院	名称：現代地理A	
副教材 (授業で使用)	出版社：二宮書店	名称：高等地図帳	
	出版社：帝国書院	名称：新詳地理資料COMPLETE2018	
	出版社：とうほう	名称：ウィニングコンパス 地理の整理と演習	
授業の目標・ 内容・進め方	1月に行われるセンター試験を見据えて、系統地理と地誌の両面の基礎力の向上を目指す。センター試験では地図や統計、グラフなどの資料問題が多い。このため日頃の授業や自学自習において、関連する資料を読み取る練習を積み重ね、適確に判断する力を身に付けていきたい。授業はプリントと板書、演習問題を織り交ぜて展開する予定。夏休み以降、地誌を学習しながら演習問題に取り組む。授業中に理解し切るくらいの集中力で授業に参加してほしい。		
課題・提出物	夏期休暇に基礎力充実を目的とした課題を出す。		
授業計画	4月	農林水産業	
	5月	鉱工業、村落・都市	第1回テスト
	6月	世界の都市問題、地域開発、人種と民族、宗教	
	7月	世界の民族問題、人口問題、国家と国家群、領域・国境	第2回テスト
	9月	センター演習(東アジア・東南アジア)	
	10月	センター演習(南アジア・西アジア・アフリカ)	第3回テスト
	11月	センター演習(ヨーロッパ・ロシア・北アメリカ・南アメリカ)	
	12月	センター演習(オセアニアその他)	第4回テスト
	1月	講習においてセンター試験対策問題演習	
	2月		
	3月		
	長期 休暇		

# 教科・科目名 : 倫理、政治・経済演習

履修学年・対象	3年	文系2、理系2	単位
使用教科書	出版社: 山川出版社	名称: 詳説 政治・経済	
	出版社: 実教出版	名称: 高校倫理 新訂版	
副教材 (授業で使用)	出版社: 山川出版社	名称: 詳説 政治・経済ノート	
	出版社: 実教出版	名称: 高校倫理 新訂版演習ノート	
授業の目標・ 内容・進め方	<p>「倫理、政治・経済」をはじめとする公民科のセンター試験対策を主な内容とする。</p> <p>倫理、政治・経済は4単位の科目であるが、授業時間は2単位しかないので、授業ですべてを解説することはできない。したがって、生徒自身が主体的に学習をすすめることが不可欠である。</p> <p>授業は、政経と倫理を一時間ごとに交互に行う。一回に教科書10頁程度の範囲について、問題練習と解説を行う。教科書準拠ノートを購入してもらうので、それを使って必ず予習をすること。</p> <p>政経、倫理それぞれについて夏期講習を開講する。夏期講習込みの年間カリキュラムとなるので、極力夏期講習を受講すること。</p>		
課題・提出物	きちんと予習すること。		
授業計画	4月	政経: 民主政治の基本原則、日本国憲法と民主政治 倫理: 青年期	
	5月	政経: 基本的人権の保障 倫理: ギリシア思想	第1回試験
	6月	政経: 日本の政治制度、現代日本の政治、倫理: 三大宗教、中国思想	
	7月	政経: 現代の国際社会 倫理: 日本の古代思想	第2回試験
	9月	政経: 現代経済のしくみ 倫理: 近代西洋の思想	
	10月	政経: 国民福祉の向上 倫理: 近代西洋の思想	第3回試験
	11月	政経: 国際経済 倫理: 近代西洋の思想	
	12月	(センター対策講座)	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		
	長期 休暇	夏期講習 政経: 国際社会、経済社会の変化 倫理: 日本の近世・近代思想	

教科・科目名 : 数学Ⅲ			
履修学年・対象	3年	理系 5単位	
使用教科書	出版社: 数研出版	名称: 数学Ⅲ	
副教材	出版社: 数研出版	名称: チャート式基礎からの数学Ⅲ	
	演習用テキストを7月から使用する。		
授業の目標・内容・進め方	<p>高校2年次の授業に引き続き、数学Ⅲの微分積分を学習していく。内容は積分法の応用までを取り扱った後に発展の内容まで学習する。授業では入試の視点から重要となる微分積分の計算力を徹底していく。一方で入試においては機械的な計算だけでは解答にたどり着かない問題が数多く出題されるため、微分積分の理論について深い思考ができるようになることを目指す。数Ⅱ、数B等の内容と融合した微分積分の問題にも対応できるように、教科書の内容が終わり次第、国公立大の受験に対応できるような問題で入試対策を行う。</p>		
授業計画	4月	数学Ⅲ 第6章 微分法の応用	
	5月	数学Ⅲ 第6章 微分法の応用／第7章 積分法	第1回試験
	6月	数学Ⅲ 第7章 積分法	
	7月	数学Ⅲ 第8章 積分法の応用／入試問題演習	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	卒業試験
	1月		
	2月		
	3月		



# 教科・科目名：数学演習(理系最難関)

履修学年・対象	3年	理系	2単位
使用教科書	プリントを使用		
副教材 (授業で使用)			
授業の目標・ 内容・進め方	<p>東京大学・東京工業大学の受験数学において、受験で必要だが授業ではカバーしきれなかった範囲の内容を取り扱った演習を行う。必要に応じて先にあげた大学を受験する際に必要な知識を他大学の類題でも補足してゆく。</p>		
授業計画	4月	入試問題演習	
	5月	入試問題演習	第1回試験
	6月	入試問題演習	
	7月	入試問題演習	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	卒業試験
	1月		
	2月		
	3月		

## 教科・科目名：数学演習(理系難関)

履修学年・対象	3年	理系	2単位
使用教科書	プリントを使用		
副教材 (授業で使用)			
授業の目標・ 内容・進め方	早稲田大学・慶応大学などの受験数学において、受験で必要だが授業ではカバーしきれなかった範囲の内容を取り扱った演習を行う。また、必要に応じて先にあげた大学を受験する際に必要な知識を他大学の類題でも補足してゆく。		
授業計画	4月	入試問題演習	
	5月	入試問題演習	第1回試験
	6月	入試問題演習	
	7月	入試問題演習	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	卒業試験
	1月		
	2月		
	3月		

# 教科・科目名 : 数学演習(文系難関)

履修学年・対象	3年	文系	4単位
使用教科書	出版社: 啓林館・河合塾 名称: システム数学 入試必修問題集 実戦 数学 I A IIB		
副教材 (授業で使用)			
授業の目標・ 内容・進め方	難関大学の受験で、記述式の数学を利用する文系生徒に対して演習を行う。対象は東京大学、一橋大学等で2次試験に利用する生徒をはじめとして、早稲田大学、慶応大学で数学を利用して受験をする生徒まで対応する。		
授業計画	4月	入試問題演習	
	5月	入試問題演習	第1回試験
	6月	入試問題演習	
	7月	入試問題演習	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	卒業試験
	1月		
	2月		
	3月		

# 教科・科目名 : 数学演習(文系標準)

履修学年・対象	3年	文系	3単位
使用教科書	出版社: Z会出版 名称: アップリフト 数学 I A・II B(必修編)		
副教材 (授業で使用)			
授業の目標・ 内容・進め方	記述式の数学を利用して受験する文系生徒に対して演習を行う。対象は千葉大学・筑波大学などの2次試験に数学を利用する生徒をはじめとして、センター試験で数学を受験する生徒まで対応する。		
授業計画	4月	入試問題演習	
	5月	入試問題演習	第1回試験
	6月	入試問題演習	
	7月	入試問題演習	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	卒業試験
	1月		
	2月		
	3月		

# 教科・科目名：数学演習(薬農看)

履修学年・対象	3年	理系	5単位
使用教科書	出版社: Z会出版 名称: アップリフト 数学ⅠA・ⅡB(必修編)		
副教材 (授業で使用)			
授業の目標・ 内容・進め方	主に薬学部、農学部、看護系の大学を目指す生徒を対象に、数学Ⅰ・A・Ⅱ・Bの各分野についての演習を行う。		
授業計画	4月	入試問題演習	
	5月	入試問題演習	第1回試験
	6月	入試問題演習	
	7月	入試問題演習	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	卒業試験
	1月		
	2月		
	3月		

# 教科・科目名：数学演習

履修学年・対象	3年	理系	3単位
使用教科書	出版社：数研出版 名称：数学Ⅲ		
副教材 (授業で使用)	出版社：数研出版 名称：チャート式基礎からの数学Ⅲ		
	演習用テキストを5月から使用する。		
授業の目標・ 内容・進め方	数学演習では、数学Ⅲの2次曲線の続きとして、媒介変数表示と極座標について学習する。教科書の内容が終了後、数学全般に力をつけられるような問題で国公立大学受験に対応できるよう記述型の入試対策を行う。また、センター試験の実践演習も出来れば行う。		
授業計画	4月	数学Ⅲ 第2章 式と曲線	
	5月	数学Ⅲ 第6章 微分法の応用	第1回試験
	6月	入試問題演習	
	7月	入試問題演習	第2回試験
	夏休		
	9月	入試問題演習	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	卒業試験
	1月		
	2月		
	3月		

# 教科・科目名：化学基礎

履修学年・対象	3年	文系	1単位
使用教科書	出版社:	名称:	
副教材 (授業で使用)	出版社: 実教出版	名称: 大学入試センター試験対策問題集 化学基礎	
授業の目標・内容・進め方	前期は2年次までの内容を単元別の問題集での演習と併せて、入試に出題される実験の問題について実際に実践するような授業を展開する。事前に問題を解き、授業では解説と重要事項の確認を行う。後期は、総合問題演習でセンター試験対策を行う。		
課題・提出物	授業課題、長期休暇課題など		
成績評価の方法	定期試験と授業内試験約90%、授業態度等平常点約10%		
授業計画	4月	物質の構成	
	5月	物質の変化	第1回試験
	6月	物質の変化・日常生活の化学	
	7月	計算問題対策	第2回試験
	夏休		
	9月	実験・グラフ問題対策	
	10月	総合演習	第3回試験
	11月	総合演習	
	12月	総合演習	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		

教科・科目名：化学			
履修学年・対象	3年	理系	4単位
使用教科書	出版社：啓林館 名称：化学 改訂版		
副教材 (授業で使用)	出版社：実教出版 名称：サイエンスビュー化学総合資料		
	第一学習社	2018セミナー化学基礎+化学	
	数研出版	2018化学重要問題集	
	数研出版	思考力・判断力・表現力を養う化学考察問題集(GSのみ)	
授業の目標・内容・進め方	<p>化学の残りの範囲を週4時間で学習する。進度が速いので、授業を学習の中心としてしっかりついてくること。3年生なので、後から復習する時間はない。わからないところは後回しにせず、直ぐに質問に来ること。授業後の内容のまとめ直しと重要問題集等を用いての復習が肝要である。また、各単元で行う生徒実験は、直接実物に触れ、体験できる貴重な機会であるので、事前に内容を十分に理解してから臨むこと。実験レポートなどの提出物は、「調べ・まとめ・発表する」ちからを見る上で、重要視する。</p>		
課題・提出物	通常授業課題、長期休暇課題、実験レポートなど		
成績評価の方法	定期試験約80%、課題・提出物・授業態度評価約20%		
授業計画	4月	第3部 第4章 遷移元素 第5章 生活と無機物質	
	5月	第4部 第1章 有機化合物の特徴と分類 第2章 脂肪族炭化水素	第1回試験
	6月	第2章 脂肪族炭化水素 第3章 酸素を含む脂肪族化合物	
	7月	第3章 酸素を含む脂肪族化合物 第4章 芳香族化合物	第2回試験
	夏休		
	9月	第5章 生活と有機化合物 第5部 高分子化合物	
	10月	入試問題演習	第3回試験
	11月	入試問題演習	
	12月	入試問題演習	第4回試験
	1月		
	2月		
	3月		



# 教科・科目名：生物基礎

履修学年・対象	3年	文系	2単位
使用教科書	出版社：数研出版 名称：改訂版 生物基礎		
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店 名称：ニューステージ新生物図表		
	第一学習社 名称：ビーライン生物基礎		
	東京書籍 名称：改訂ニューステップアップ生物基礎		
授業の目標・内容・進め方	3年次では、秋までに2年次の内容を順次総復習し、基礎固めをする。全体を通して、センター試験に対応できるように問題演習をしながら進める。多少難しい問題が出題されても対応できる力をつけていく授業となるため、しっかりついてきてほしい。		
課題・提出物	授業課題、実験レポート など		
成績評価の方法	定期試験 80%、提出物その他 20%		
授業計画	4月	細胞・代謝とエネルギー	
	5月	細胞分裂・DNA	第1回試験
	6月	体液・肝臓・腎臓・自律神経・内分泌	
	7月	免疫	第2回試験
	夏休	希望者 夏期講習	
	9月	遷移・バイオーム	
	10月	生態系と物質循環	第3回試験
	11月	総合問題演習	
	12月	希望者 特別演習	第4回試験
	1月	希望者 特別演習	
	2月		
	3月		

# 教科・科目名 : 生物

履修学年・対象	3年	理系（生物化学選択者）	4単位	
使用教科書	出版社：東京書籍	改訂生物		
副教材 (授業で使用)	出版社：浜島書店	ニューステージ 新生物図表		
	東京書籍	ニューグローバル 生物基礎＋生物		
	数研出版	リードLightノート生物		
	第一学習社	2019 セミナー生物基礎＋生物		
	第一学習社	ビーライン生物基礎		
授業の目標・内容・進め方	<p>科目「生物」の生化学・発生学・脳神経科学・植物生理学・生態学・進化学・分類学の各分野を学ぶ。科目「生物基礎」との関連も深いので、その都度復習していく。2年次と併せての生物学の膨大な内容の学習を通じて、自然への驚嘆・畏怖・敬意に基づく生命観・世界観の形成を目指す。</p>			
課題・提出物	実験レポート、通常授業課題 など			
成績評価の方法	定期試験 80%、提出物その他 20%			
授業計画	4月	生化学	植物の組織培養実験(長期)	
	5月	生化学	↓	第1回試験
	6月	発生学	↓	
	7月	発生学		第2回試験
	夏休	希望者対象の夏期講習・希望者対象の実験		
	9月	脳神経科学・植物生理学		
	10月	生態学		第3回試験
	11月	進化学・分類学		
	12月	分類学	希望者対象 特別講習(全分野の演習)	第4回試験
	1月	希望者対象 特別講習(全分野の演習)		
	2月			
	3月			

## 教科・科目名：コミュニケーション英語Ⅲ (GL)

履修学年・対象	3年	共通	3単位
使用教科書	出版社：三省堂	名称：English communication Ⅲ	
副教材 (授業で使用)	出版社：駿台文庫	名称：標準編 英語長文読解問題	
	出版社：EMILE	名称：センター演習模擬演習 40mins×14回	
	その他プリント教材使用		
授業の目標・ 内容・進め方	テキストを用い、入試長文問題演習とセンター試験対策を行っていく。入試長文問題演習は私立大学・国公立2次試験対策の問題演習を扱う。テキスト終了後は、私大・国立2次対策プリント教材で長文読解演習を行う。できるだけ多くの入試問題演習を行い、さまざまな文章に対応できる力を養成する。また授業については、読解だけでなく、リスニングなども随時入れていき、読む・聞く・書く・話すの4技能を織り交ぜて展開する。		
	4月	私大・国公立大2次試験演習	
	5月	私大・国公立大2次試験演習	第1回試験
	6月	私大・国公立大2次試験演習	
	7月	私大・国公立大2次試験演習	第2回試験
	夏休		
	9月	私大・国公立大2次試験演習	
	10月	私大・国公立大2次試験演習	第3回試験
	11月	私大・国公立大2次試験演習	
	12月		卒業試験

## 教科・科目名 : コミュニケーション英語Ⅲ (GS)

履修学年・対象	3年	共通	3単位
使用教科書	出版社: 三省堂	名称: English communication Ⅲ	
副教材 (授業で使用)	出版社: 駿台文庫	名称: 上級編 英語長文読解問題	
	出版社: EMILE	名称: センター演習模擬演習 40mins×14回	
	プリント教材使用		
授業の目標・ 内容・進め方	<p>テキストを用い、私立大学・国公立大学2次試験対策用長文問題演習とセンター試験対策を同時並行で行っていく。テキスト終了後は、私立大学・国公立大学2次試験対策用プリント教材で主に過去問題演習を行う。できるだけ多くの入試問題演習を行い、さまざまな文章に対応できる力を養成する。また授業は、読む・聞く・話す・書くという4技能を効率よく取り入れながら、最難関大学へ対応できる英語力を養う。また長いリスニング問題へ対応できる力を養う。</p>		
	4月	私大・国公立大2次試験演習	
	5月	私大・国公立大2次試験演習	第1回試験
	6月	私大・国公立大2次試験演習	
	7月	私大・国公立大2次試験演習	第2回試験
	夏休		
	9月	私大・国公立大2次試験演習	
	10月	私大・国公立大2次試験演習	第3回試験
	11月	私大・国公立大2次試験演習	
	12月		卒業試験

教科・科目名：英語演習Ⅲ			
履修学年・対象	3年	共通 1単位	
使用教科書	出版社:	名称:	
副教材 (授業で使用)	出版社: Z会出版	名称: OVER ALL 英語総合問題集 5	
	出版社:	名称:	
授業の目標・ 内容・進め方	この授業は、昨年に引き続きGlobal Issuesを取り扱う。「コミュニケーション英語」、「英語表現」での学習(基本練習と応用練習)をふまえ、英検1級・準1級、センター試験レベルで確実に高得点をとることを目標として、主にセンター試験に向けた実践問題を解いていきます。センター試験の各大問の解法を学びながら、文法や語法の復習も兼ねて行います。		
授業計画	4月	Global Issues演習	
	5月		第1回試験
	6月		
	7月		第2回試験
	夏休		
	9月		
	10月		第3回試験
	11月		
	12月	↓	卒業試験

教科・科目名：英語表現Ⅱ（GS, GL共通）					
履修学年・対象	3年		2単位		
使用教科書	出版社：三省堂 名称：CROWN English Expression				
副教材 (授業で使用)	出版社：いいずな書店 名称：英文法・語法 Vintage				
	出版社：数研出版 名称：Write It Right				
	出版社：山口書店 名称：Creative Approaches to Essay Writing				
	出版社：美誠社 名称：LISTENING TRIAL Stage 4				
	出版社：EMILE 名称：センターリスニング 分野別10mins				
	出版社：いいずな書店 名称：英文法・語法問題 新演習950				
	出版社：数研出版 名称：チャート式基礎からの新総合英語				
授業の目標・ 内容・進め方	<p>①Vintageや英文法・語法問題 新演習950を用い、客観問題(四択問題)などの演習。②国公立と私大の英作文問題の演習 ③私大・国公立の入試問題を使った実戦演習。</p> <p>授業では主に解答に必要な知識を確認し覚えてもらいながら、解答の手順と思考方法を体感してもらう。抜けているところがないかひとつひとつ確認し、長文読解・英作文・Listeningに必要な力を再定着させることを目指す。また、Speakingの訓練も授業内で行う。Inputとoutputの両方を意識して取り組もう。</p> <p>GSクラスは、授業内で早めに教科書を終わらせ、最難関大の過去問に取り組む。</p>				
授業計画	4月	文法・語法演習			
	5月	文法・語法演習		第1回考査	
	6月	文法・語法演習			
	7月	文法・語法演習		第2回考査	
	夏休				
	9月	文法・語法演習		第3回考査	
	10月	文法・語法演習			
	11月	文法・語法演習	入試問題実践演習		
	12月	文法・語法演習	入試問題実践演習		卒業試験

**教科・科目名** : Academic Writing Preparation for University Entrance Exams

履修学年・対象	3年	共通	2単位
使用教科書	出版社 : 名称 : ブリティッシュ・カウンシルのオリジナル教材		
副教材 (授業で使)	出版社 : プリント教材他		
授業の目 標・内容・進 め方	<p>大学入試のライティング対策を目的としたアカデミックライティングコースです。総合的な書く力を伸ばし、自信を持って大学入試におけるライティング問題に取り組めるようになることを目標とします。</p> <p>ブリティッシュ・カウンシルの英語講師によるオールイングリッシュの授業ですので、英語で話し、書くことが求められます。受講生同士が協力して学ぶことが求められ、モチベーションを保ちながら学習をします。授業では「形式的アプローチ」と「実践的アプローチ」2つの要素を合わせたライティング指導を行います。「形式的アプローチ」では、模範文の分析を通して文の構成や言語表現などの知識をつけます。「実践的アプローチ」では、協働学習、ディスカッション、意見の集約などを行い、構成だけではなく内容に重きをおいた学習を行います。ライティング課題をこなし、添削された課題を書き直すことにより次の段階に進む前に誤りに気づき、書く力をつけていきます。</p>		
授業計画	4月	Linking and developing ideas	
	5月	Describing objects, describing people, and describing photographs and other images	第一回試験
	6月	Essays about Japanese culture, Responding to hypothetical essay questions	
	7月	Relating past experiences	第二回試験
	9月	Expressing one's own opinion, Arguing from a given viewpoint	
	10月	Discursive writing	第三回試験
	11月	Summarising, Practice with University exam questions	
	12月	Practice with University exam questions	第四回試験
	1月	Practice with University exam questions	
2月	Practice with University exam questions		

教科・科目名： 体育					
履修学年・対象	3 年	共通 2 単位			
使用教科書	出版社:	名称:			
副教材 (授業で使用)	学習ノート(種目別班ノート)				
	→ 授業時に配布・作成				
授業の目標・内容・進め方	7クラスを3または4クラスに分けての合同授業となる。5月から12月第1週までの期間を4期に分け、各期間に設定された数種目の中から各自の興味関心にあわせて種目を選択し、合計3～4種目を学習する。種目ごとにグループ分けを行い、各グループごとに学習ノートを作成する。体育が必修ではない大学が増加しており、卒業後の運動機会の減少が懸念されるため、グループ間の連携をとりながら、各時間の学習計画を作成・実践・反省する活動を通して、運動の楽しさを味わい、生涯にわたり安全で計画的に運動を実践する能力を養ってほしい。				
課題・提出物	学習ノートに毎時間の学習計画を作成し、反省等を記入して、授業実施日の16時までに体育教員室前の所定の場所に提出する。				
成績評価の方法	平常点(積極性・意欲・態度・出欠席)20%前後。スキルテスト30～40%。 理解度テスト(筆記)10%。ノート20～30%。				
授業計画	4月	球技大会練習			
	5月	選 択 体 育	バスケットボール、サッカー	スポーツテスト	
	6月		バレーボール	実技テスト	
	7月		バドミントン、水泳		
	夏休		硬式テニス、卓球		
	9月		軟式野球	実技テスト	
	10月		フィットネス(エアロビクス、筋力トレーニングなど)	実技テスト	
	11月		キャッチザディスク(芝柏オリジナル種目)		
	12月		ゲートボール	体づくり運動・体育理論	実技テスト
	1月				
	2月				
	3月				
	家庭学習の仕方	受験期に入り運動機会が減少する中で、体力が低下し健康を損なうことがないよう、日頃から少しずつでも体を動かすことを心掛ける。	ノートの取り方など 2年次のサッカーおよびバドミントンで作成練習をした学習ノートと同様に、毎時間の学習計画を作成する。単元計画と各時間の学習計画の作成にあたっては、グループ間の連携を密に、各グループの体力や技術レベルに応じた練習方法やスペースの使い方を考え、図を交えて記入する。		